



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2020-21 クラブテーマ **例会を楽しもう**



2021. 5. 24

(短縮例会)

No.2380 No.80



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

銅冶 康之

こんにちは。きょうは古代天皇家である海部氏(あまし)を滅ぼした応神天皇の話をします。

応神天皇は第14代仲哀天皇を殺し第15代天皇となり王朝が入り替わりました。海部氏は海洋族で海部氏の古墳からは多量の鉄製品、水晶玉、ガラス玉が出土しますが、応神天皇以後の時代の古墳からは馬具が必ず出土します。つまり応神天皇は騎馬民族出身なのです。大元は満州地方の扶余出身の扶余族です。

扶余国は紀元前2世紀ごろ建国され扶余族が高句麗を作り、西暦300年ごろに百済、伽羅へ南下して行きました。高句麗王も百済王も伽羅王もすべて扶余王族の血統です。そして西暦359年に初代伽羅国王になったのが首露王(しゅろおう)でこの王が応神天皇です。首露王は320年生まれでこの時39歳です。その後日本の大分の宇佐に社(やしろ)を築き、そこを拠点として大和へ東征します。この社が宇佐八幡宮となり、江戸時代まで天皇家の宗廟として崇拝されていました。

日本書紀、古事記では神武と応神の二人の東征の話が書かれてありますが、本当は応神が6年の歳月をかけて宇佐から大和へ東征し、海部王朝を滅ぼしました。369年、応神49歳の時です。前にも話しましたが、神武は東征していません。

この369年の大和征服のお祝いに、百済王より応神天皇へ七支刀(しちしとう)という刀が贈られ、その刀が奈良の石上神宮(いそのかみじんぐう)に納められています。このことは百済王と応神天皇が同じ扶余王族で親戚であるということの証明になります。

◆出席: 44名中27名

◆今年度の通算出席率: 82.66%

◆今週のメイクアップ: 5月22日(土)2021-22年度地区研修・協議会 (Zoom ウェビナー)

▷平松修之君、木村譲君、野崎正明君、荒澤威彦君、長谷川直哉君、渡辺和宏君、石山昌宏君、太田義人君、齋藤嘉一君、加藤一芳君

◆幹事報告: 石山昌宏幹事

【日本のロータリー100周年を祝う会記念式典・祝賀会】対面での開催を見送り、無観客による開催の模様を、当日(5月25日)オンライン配信(YouTube)にて放映。開会13:00閉会16:30(12:30配信開始予定)。

アーカイブ動画は2週間程度視聴可能です



<https://youtu.be/Bb-7UMQNjtU>

ニコニコボックス

5/24 5,000円 累計313,000円

銅冶会長「昨日、長岡カントリー倶楽部でゴルフをしました。96で、100を切りました。同伴の大溪先生ありがとうございました」

石山幹事「5月22日の地区研修・協議会にZoomウェビナー参加された方、お疲れさまでした」

平松君「本日は例会終了後、家庭会合を行います。参加の皆様よろしく申し上げます」

西潟君「ウイルス感染症拡大で大変な中、昨日はラグビーのテレビ観戦に集中し感動しました。パナソニック、サントリーとも立派でした」

長谷川君「BOXに協力します」

布施君「BOXにご協力ありがとうございました」



ロータリーは
機会の扉を開く

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク (ドイツ)
第2560地区ガバナー 佐藤 真 (村上岩船)
第4分区分ガバナー補佐 丸山 健 (吉田)
会長 銅冶 康之
幹事 石山 昌宏
SAA 丸山 智

事務局
〒955-8666 三条市町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL <https://www.sanjo-minami.jp>



地区研修・協議会報告

平松 修之 会長エレクト

本日は先週の土曜日に開催された 2021-22 年度国際ロータリー第 2560 地区の地区研修・協議会の報告を致します。今回は Zoom ウェビナーでの配信で、初めての試みとなりました。

次年度の会長・幹事の他、奉仕委員会、会員増強、広報・公共イメージ向上委員会、職業奉仕・社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山奨学記念委員会、以上の皆さまに WEB 会議に参加依頼をお願いさせて頂きました。

さて土曜日の会議は 10時から始まり、佐藤ガバナー、大谷地区研修リーダーの挨拶に続き、新潟中央 RC の高尾茂典ガバナーエレクトの国際協議会の報告、新年度地区運営方針の発表がありました。

シェカール・メータ R I 会長の 2021-2022 年度テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」のもとに発信された次期の優先活動項目は 5 つあります。

- 1、会員の増強
- 2、女子のエンパワメントに焦点をあてる(女子だからという理由で差別等の状況を改善する)
- 3、ロータリー奉仕デーの実施
- 4、ポリオ完全根絶
- 5、ロータリー7番目の重点分野として新たに「環境保全」を追加する

以上の5項目です。

また、高尾年度の地区運営方針のテーマは「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」です。

この地区運営方針のなかでは、COVID-19 によって社会や人々の心が疲弊している今、奉仕を責務とする我々が優先すべきことは、国際ロータリーの今期のテーマ及び優先活動項目に沿った活動を実践していくことに加え、地域社会や人々を元気に、豊かにするための活動の推進だと話されました。

「奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする」ということを実感し行動する、真のロータリアンを増やすこと、そしてより多くの人々にロータリーの活動を理解してもらう機会を提供することが必要とも言われました。「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」を地区の運営方針として掲げ、「真のロータリアンの育成・ロータリー活動の認知度の向上」を重点項目として取り組むとされました。

ガバナーエレクトの話のあとは、R L I 日本支部ファシリテーター委員長の中村靖治さんから基調講演がありました。はじめにコロナ禍になって一年以上過ぎたわけですが、現在までの状況報告をパワーポイントで報告されました。R L I (ロータリーリーダーシップ研究会)はロータリアンがロータリーへの思いを自由に語り合い、個々のモチベーションを確実に高めていく語りの場であるとし、真のロータリアンの育成とロータリー活動の認知度の向上にも繋がる草の根運動であるとも話されました。

以上が午前の部で、午後の部としては第 1 セッションから第 7 セッション、其々の場所に分かれて同じくリモートで行われました。

会長・幹事、ガバナー補佐は第一セッションです。初めにシェカール・メータ R I 会長のビデオを短めに編集したものを上映しましたが、途中でバグってしまうアクシデントもありましたが、大きな混乱はありませんでした。

高尾エレクトはロータリー奉仕デー実施に向けて実行委員会を立ち上げ、9月12日に開催と連絡も来ていましたが、来年の6月に変更となりました。

その内容としては県内の「海岸河川等の美化プロジェクト」として、会員会社の若手社員等をはじめとして、一般市民 25%以上を取り込んでの地球環境保全目的のプロジェクトになると言われました。これは会員増強にもつながるとも言われました。是非ともロータリー奉仕デーを成功させるために各クラブに協力して貰いたいと話されました。

実はこの地区研修・協議会に先立って、アンケートの要請がありました。地区の方針をクラブ活動方針どのように生かしていくか、ロータリー活動の認知度を向上させるために具体的な取り組み予定があるか、クラブ戦略計画立案について具体的な取り組みがあるか、という質問でした。クラブ名を伏せて幾つか紹介されましたが、その中で、AED の寄贈を検討しているクラブがあると話されていましたが、多分それは三条南 RC のことだと思います。その他、多分、三条 RC が三条北 RC の事だと思いますが、フードバンク活動へのサポートの事にも触れていました。

クラブ戦略計画立案の取り組みについては、実際計画を立て、取り組んでいるクラブは各分区で 1 つか 2 つしか無いらしく、今後の課題としては、5年後 10 年後を見据えてクラブのあるべき姿を目指して計画を立てて欲しいと話されました。今後はガバナー補佐からも戦略計画委員会の立ち上げ等のお願いもあるかと思うと話されました。

以上、初の Zoom ウェビナーでの研修会・協議会でしたが、これといったトラブルもなく、無事に終わることが出来て、ほっとしたというのが本音です。次年度スタートまで後ひと月となってしまいましたが、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。

家庭会合

2021 年 5 月 24 日(月) 13:00~13:30
於：三条信用金庫本店 3 階大会議室 例会場



◆感染状況を踏まえて、例会終了後に行いました。各委員長より次年度の事業計画が発表されました。





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



シェカール・メータR I 時期会長夫妻

【地区運営方針】

「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」



COVID-19によって社会や人々の心が疲弊している今、奉仕を責務とする我々が優先すべきことは、RIの今期のテーマ及び優先活動項目に沿った活動を実践していくことに加え、地域社会や人々を元気に、そして豊かにするための活動の推進だと考えます。そのためには「奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする」ということを心から実感して行動する真のロータリアンを増やすこと、そしてより多くの人々にロータリーの活動を理解していただく機会を提供することが必要です。



高尾茂典ガバナーエレクト夫妻

そこで今期は、「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」を地区運営方針とし、ガバナー補佐とともに各分区のクラブと連携しながら、以下の重点目標、数値目標に取り組みます。

| 重点目標 | 目標を達成するための取り組み事項 |
|---|--|
| <p>真のロータリアンを育成する</p> | <p>① クラブ活動や前年度導入されたRLI（ロータリーリーダーシップ研究会）を定着させるため、DL（ディスカッションリーダー）を育成する。</p> <p>② 入会3年未満での退会が多い状況を改善するため、以下の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ ロータリアンであることの誇り、喜びを実感してもらうため、奉仕活動に積極的に参加いただく。 ▪ 我々がロータリー財団に寄付したお金が、どのように世界の困難な状況の解決に役立っているかを認識するための研修等を設ける。 <p>③ ロータリアンとしてお互いを高め合い、ともに成長できる友人を作るための、交流や親睦の機会を提供する。</p> |
| <p>ロータリー活動の認知度を向上する</p> | <p>① 公共イメージ向上活動を推進する。 公共イメージ関連の委員会が設置されていないクラブは増強委員会で取り組む。</p> <p>② 各種メディアによる発信を増やすべく、積極的に働きかけを行う。</p> <p>③ RAC（ローターアクト）との連携によりSNS を活用した広報活動を行う。</p> <p>④ 地域の皆様にも参加いただけるロータリー奉仕デーを開催する。</p> <p>⑤ RAC やIAC（インターアクト）と交流を深め、ともに奉仕活動を行う機会を作ることによりロータリーのブランドイメージを強化する。</p> |
| <p>数 値 目 標</p> | |
| <p>1. 新規DL 認定者数：15人以上</p> <p>2. 新規会員の入会数：各クラブ10%増</p> <p>3. 女性会員数：各クラブ会員の15%</p> <p>4. ロータリー財団寄付：年次基金150ドル/会員</p> | <p>5. ロータリー財団寄付・ベネファクター：10名以上</p> <p>6. ポリオプラス寄付：30ドル/会員</p> <p>7. 米山記念奨学金寄付：2万円/会員 (普通、特別寄付合計)</p> <p>8. 米山記念奨学生支援：900名達成を支援する</p> |